



天瀬

Amagase



ありがとう、あまがせ物語

12月20日、天瀬公民館の体育館で、天瀬町生活研究グループのふるさと小包「あまがせ物語」の最後の発送作業が行われた。1991年から年2回行われてきたこの贈り物は、今回で最終回を迎える。中身は、正月飾りの松竹梅や丸もち、黒豆、ゆずごしょう、かりんとう等、ふるさとの味が10品入っており、267箱全てに真心を含め最後の発送を行った。



私たちが、日田ってます

12月11日、台湾の男女4人組の人気ロックバンド「旺福」が、天ヶ瀬温泉街の露天風呂「神田湯」に湯あみ着姿で入浴し、ミュージックビデオや雑誌の撮影を行った。メンバーは、「日田の観光地情報を発信し、台湾からの観光客を増やし、九州豪雨で被災した日田を元気にしたい」と語った。今後「旺福」は、本格的な日本進出を目指している。

大山

Oyama



無病息災を祈って

1月7日、大山町中川原の榎瀬公園で「鬼火焚き」が行われ、地区内の住民など約80人が訪れた。この催しは、中川原青年会主催で、1年の無病息災を願い、毎年行われている。

竹で組まれたやぐらに火がつけられ、勢いよく燃え上がる炎を、参加者たちはそれぞれ願いを含めながら見つめ、大きな歓声を上げていた。



49年の歴史に幕

12月中旬から、大山町中大山の旧大山振興局の解体工事が始まった。大山振興局は平成28年7月に現在の位置（大山小学校跡地）に移転しており、役目を終えた旧大山振興局は、解体されることになった。旧大山振興局は、昭和43年11月に竣工して以来、大山町役場、日田市大山振興局として刻んだ49年の歴史に幕を降ろした。



日田

まちの話題

Hita



新しい出会い、新たな発見

12月16日、平成30年秋にアオーゼで開催される、第33回国民文化祭・おおいた2018のイベントとして、現代美術家の大巻伸嗣氏のトークイベントが開催された。大巻氏は「色々な人たちと出会い、自身が作品に込める思いを繋げ、観る人それぞれが体全体で作品を感じとり、何かを発見できるものにしたい」と本市での制作を熱く語った。



アヤメをあしらい華やかに

12月15日、原付バイクの「日田市ご当地ナンバープレートデザイン」最優秀賞受賞者の表彰及びレプリカ交付式が行われた。応募作品61点から最優秀賞に選ばれた森山國義さんは、「日田市の花がアヤメだと知ってもらいたい」という思いでデザインを考案した。このナンバープレートは1月15日から交付されている。



日頃から防災意識を高めて

平成30年日田市消防団出初式が1月21日、大原グラウンド、三隈川河川敷、パトリア日田で行われた。大原グラウンドでは訓練点検や操法点検などが披露された。その後、三隈川遊歩道で行われた消防車38台による放水点検では、大きなエンジン音とともに一斉に力強い放水が行われ、観覧に訪れた人たちから大きな歓声が沸き起こっていた。



心を一つに！金賞受賞

12月20日、日隈小学校金管バンドの皆さんが、第36回全日本小学校バンドフェスティバルと第45回マーチングバンド全国大会の両大会で金賞を受賞したことを市長に報告した。両大会合わせての金賞受賞は九州の小学校として初となる快挙となった。出場した子供たちは「みんなの気持ちをまとめて頑張った」と満面の笑顔で受賞の喜びを語った。